

[2026年2月27日]

全社員を対象にDXリテラシー標準対応eラーニングを実施

鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：伊藤 泰司）は、人材DX戦略の一環として、全社員を対象に、株式会社ネットラーニング（本社：東京都新宿区、代表取締役：岸田 徹）が提供する「DXリテラシー標準対応コンテンツ」※を活用したeラーニング研修を実施しました。

■本研修の概要・位置づけ

本研修では、経済産業省および独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が示す「DXリテラシー標準」に基づき、DXが求められる背景、デジタル技術やデータの基礎知識、業務への活用方法を学習しました。あわせて、DXリテラシー標準で定義された概念を業務改善にどう活かすかを考えることで、DX推進に必要なマインドや考え方を身につけ、全社員がDXに取り組むための基礎力の定着を図りました。

当社ではDX推進に必要なスキルを体系化した「DX人材育成フレームワーク」を策定し、育成プログラムを3段階（管理職は5段階）で整備しています。本研修はその一環として、レベル1「DXの必要性を理解し、前向きに取り組める人材」の育成を目的に実施しました。

DX人材育成フレームワーク

レベル	人材の定義		対象者
一般社員 レベル1	DX理解人材	DXの必要性を理解し、前向きに取り組める人材。	全従業員（役員含む）
レベル2	デジタル利用/活用 人材	導入されたICTツール（Teamsやbox等）を正しく使う基礎スキルを身につけている人材。 また日常業務にICTツールを適用し、継続的な改善ができる人材。	総合職全員 （若年層、中堅、管理職）
レベル3	データ活用人材 DX推進人材	データの重要性を理解し、基本的なデータ取り扱いのスキルを有する人材。 周囲を巻き込み、変革をサポートできる人材。	選抜メンバー （徐々に拡大）
管理職層 レベル管1	デジタル支援人材	新たなデジタル技術の価値と発展性を理解し、仕事のやり方の変革を受け入れる。 若年層のICTツール活用を後押し（妨げない）できる管理職。	管理職層 （作業所長を含む）
レベル管2	DX推進企画人材	ビジネスアーキテクトとして業務（経営）課題解決にデジタルツールやデータを活用する。 組織（企業）の意思決定を行える管理職（データドリブン経営）	管理職層 （支店幹部）（企画系部長）

■DX戦略とDX人材育成を両輪で推進

当社は2021年4月にDX推進室を立ち上げ、これまで「基盤整備フェーズ」としてDXに対する意識改革やデジタル基盤の整備に取り組んできました。2024年4月からは、中期経営計画2028のもと、業務の効率化にとどまらない高度化をめざす「価値創出フェーズ」へと移行しています。

このフェーズでは、「経営の高度化」「業務変革と人材育成」「デジタル基盤強化」を方針に、建設プロセス改革、業務プロセス改革、人材育成、データマネジメント、ICT基盤とセキュリティの最適化の5つのDX戦略を推進しています。

こうしたDX戦略を着実に推進する基盤として人材育成を重視し、本研修を通じてDXを身近なものとして捉え、日常業務の改善や新たな価値創出に主体的に取り組む人材の裾野を広げ、全社的なDX推進力の強化につなげていきます。今後もDXの推進により、業務の高度化や企業価値の向上を図り、持続的な成長と社会への貢献をめざしてまいります。

※[DXリテラシー標準（DSS-L）概要 | デジタル人材の育成 | IPA 独立行政法人 情報処理推進機構](#)

※株式会社ネットラーニングが提供する「【徹底確認】全社員で学ぶ！DXリテラシー標準完全ガイド」は、DXリテラシー標準に沿ってDXスキルを習得し、ビジネスの問題解決方法や考え方を学習するものです。当コースは株式会社大塚商会が代理店販売を行っています。

鉄建建設株式会社 経営企画本部 広報部
〒101-8366 東京都千代田区神田三崎町2-5-3
TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-2379